



内藤 伝右衛門



高野 正誠



土屋 龍憲



内藤 満寿

山梨近代人物館 第7回展示

明治を彩った 山梨の人々



永峯 秀樹



杉浦 譲



藤村 紫朗



富岡 敬明



塚本 定右衛門



子ども向けコーナー
プロジェクションマッピングや
クイズもあるよ!
遊びにきてね!!



若尾逸平



■展示期間/

2018年4月 1日(日)~
9月27日(木)

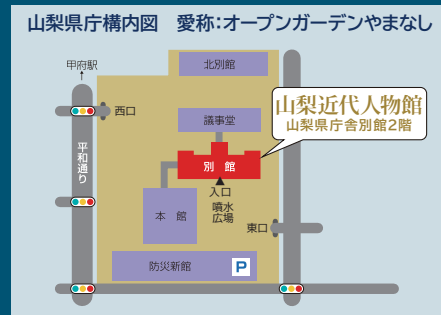
- 開館時間 / 午前9時~午後5時(入館は4時30分まで)
- 休館日 / 毎月第2・第4火曜日(その他臨時に休館する場合があります)
- 入館料 / 無料
- 住所 / 甲府市丸の内一丁目6番1号 山梨県庁舎別館2階
- お問い合わせ / TEL 055-231-0988 FAX 055-231-0991
<http://www.pref.yamanashi.jp/ykj/index.html>
facebookやっています

写真提供 / 甲州市・個人・山梨県立博物館・山梨中銀金融資料館・海上自衛隊第1術科学校・北杜市教育委員会・株式会社ツカモトコーポレーション資料館「聚心庵」

山梨近代人物館

The Museum of

MODERN YAMANASHI HISTORICAL FIGURES



明治を彩った山梨の人々

明治から150年。日本の近代国家としての歩み出しは、文明を開き、産業を興すことを目標に掲げ、精力的に新たなことに取り組んでいくものであった。

山梨県でも様々な「近代化」が進められ、そして製糸業やワイン醸造など、地域の個性を活かした産業を興していった。

明治の人々は、新たな挑戦を繰り返し、私たちの地域と歴史に多くの彩りを加えている。

明治の幕開けと山梨の群像

幕末の動乱を経て、新たな時代「明治」を迎えたわが国の制度や産業、文化は、欧米にならい、また追いついていくために、その仕組みや姿を大きく変えて行った。この大きな変革の時代のなかで、近代郵便制度を開始させた初代^{えきまていのり}逓正杉浦謙や、わが国のワイン醸造のためにフランスへと渡った高野正誠、土屋龍憲など、先駆的な役割を果たした山梨の人々を紹介する。



杉浦らが立ち寄ったエジプトのスフィンクス前での記念写真(国立国会図書館 蔵)



杉浦が発行した日本最初の切手(個人蔵)



近代の息吹と山梨の人々の挑戦

明治時代、欧米の文化や物産が流入し、その影響による社会や文化の変化は「文明開化」と称され、また産業を育て諸外国に追いついていくために、「殖産興業」というスローガンが掲げられた。山梨出身の永峯秀樹は数多くの欧米の思想、文学を翻訳し、出版業の内藤伝右衛門は、こうした文物を紹介する書籍や教科書を数多く手掛け、多くの人々が新しい文化を摂取する機会を広げていった。産業においても、第5代県令藤村紫朗のリードのなかで機械製糸業の普及に尽力した名取雅樹や、養蚕業の改良に尽力した八田達也など、人々に新たな技術と可能性を伝えていった。



富士山型に切り抜かれた意匠が特徴的な教科書(山梨県立博物館 蔵)



近代化の光と影

わが国の近代史のあゆみがもたらしたものは富や競争力だけでなく、様々な矛盾を生み出していた。山梨では機械製糸業など産業の発達により、燃料としての木材の需要が山々に向けられた結果、明治40年(1907)をはじめとする大水害が頻発するようになっていた。自然の猛威に打ちのめされた県民が、山林などの環境と向き合っていくなかで、近江商人の塚本定右衛門は、他県人ながら山梨の山林復興のために多大な造林費を寄付している。再生した山林は「塚本山」と称され、現在でも山梨を代表する森としても紹介されている。



近年の「塚本山碑」(撮影 山梨県森林環境部)

山梨近代人物館

The Museum of
MODERN YAMANASHI HISTORICAL FIGURES

甲府市丸の内一丁目6番1号 山梨県庁舎別館2階
TEL 055-231-0988 FAX 055-231-0991
<http://www.pref.yamanashi.jp/ykj/index.html>

JR中央線・身延線甲府駅南口徒歩5分
乗用車の場合は、防災新館地下駐車場をご利用
ください(駐車無料)

